

## 八女農同窓会 会報

### 同窓会総会の開催にあたっての御挨拶

福岡県立八女農業高等学校  
校長 古賀 浩利

本日、多くの同窓生の皆様方にご参集をいただき、令和元年度 第32回 福岡県立八女農業高等学校同窓会総会が盛会に開催されますことを心からお祝い申し上げます。開催にあたりましては、中村一範同窓会会長をはじめ、関係者の皆様方のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

さて、令和の新時代となり、大雨や猛暑などの自然災害が多く発生し、自然の脅威も感じる一方で、社会や経済の変化が加速度的に進み、超スマート社会（Society5.0）の到来が叫ばれる今日、学校教育も大きな変換期を迎えています。今後の教育の方向性として示されているのが、教育活動が学校内の活動に留まらず、学校外の教育力や資源を活用し、地域社会と共に教育することが重要であると言われております。そのため同窓生の皆様の豊富な経験や知識、技術を後輩たちに教え伝えるなど、機会を設けることが求められており、「社会とシンクロ」することが今後のキーワードではないかと考えています。同窓生の皆様には一層の御支援を賜ることと思っておりますが、何卒宜しくお願いいたします。

現在、本校の1、2年生は生徒数が120名となり、1クラス編成を25～35人とした弾力的な運用を行っています。他の高校と比較しても、生徒数としては決して多くはありませんが、逆に少人数であるからこそ、決め細やかな指導や生徒に寄り添った指導の充実が本校の強みとして考えているところです。その結果、農業クラブ活動では多くの生徒が九州・全国大会の出場権を獲得し、部活動においては卓球部が個人戦、団体戦で県大会出場、野球部は夏の予選でシード校相手に惜敗しましたが、大いに健闘をしてくれました。生徒達が卒業後も世の中で生きていく力を十分に培うべく、今後も教職員一同で生徒の支援を精一杯行ってまいります。

同窓会の活動につきましては、他校と比較しても大変充実しているものと感じています。まさに本校の歴史と伝統を感じさせるものであります。特に視察研修やひいらぎ会の研修は、卒業後にも様々な見聞や視野を広げ、研鑽を積み、生涯に渡って学び続ける姿であり、大変感銘を受けました。今後も同窓会行事がより一層充実されることを祈念いたします。

最後に本校では今後の農業教育の在り方とともに、地域の活性化を担う人材を輩出するため、将来の学校ビジョンづくりを行っています。現在、設置している学科の改変を含めて、教育内容の見直しや農場の適正規模等の検討をはじめた所です。同窓会の皆様方には今後、様々な示唆をいただくことがありますが、母校のより一層の発展のため忌憚のない御意見を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

同窓会の皆様の今後益々の御発展と御健勝を祈念し、挨拶といたします。